

第3章

平成25年度事業実績

1 健康政策課

健康政策課は、企画調整庶務担当、保健栄養担当及び予防接種担当で組織され、企画調整庶務担当は、保健所協議会の開催、保健所の公有財産管理、各種統計調査及び健康づくりに関する思想の普及・啓発等を行った。保健栄養担当は、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

また、健康危機管理施策として、平成25年4月に施行された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、八王子市新型インフルエンザ等対策行動計画を策定した。

(1) 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

① 人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

② 衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。平成25年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況（表(1)－1）

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	国民の保健・医療・福祉・年金等、国民生活の基礎的事項を調査して、厚生労働行政の企画及び立案の基礎資料とするとともに各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定する。	6月6日	10 地区 641 世帯
2013年社会保障・人口問題基本調査(第5回全国家庭動向調査)	少子化・高齢化が進む中で、親子、夫婦、地域の間で、家事、育児、介護がどのように行われているかを調査し、厚生労働行政における施策立案の基礎資料を得る。	7月1日	2 地区 106 世帯 20歳以上 99人

③ その他の統計・調査

地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を都を經由して厚生労働省へ報告した。

(2) 健康づくり

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるため、「はちおうじ健康づくり推進協議会」を平成15年11月に設立した。同協議会とともにイベント等を通し、健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

ア 第10回市民健康の日「2013健康フェスタ」(平成25年5月19日開催)

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、メイン会場では健康づくりを楽しみながら体験できるイベント「2013健康フェスタ」を開催した。

(表(2)-1)

年度	参加団体	参加者数
24	30 団体	7,342 名
25	49 団体	7,852 名

イ 八王子いちよう祭りへの参加(平成25年11月16・17日開催)

健康づくりに関する情報発信や市民健康の日のPRを行った。

(表(2)-2)

年度	参加団体	参加者数
24	11 団体	3,858 名
25	11 団体	5,013 名

ウ 健康づくり活動発表会の開催(平成26年3月2日開催)

「地域の中で健康に役立つ」ことを目標に活動している団体やグループの活動発表を通じて、地域の健康づくりの活性化を考える動機づけを行った。

今年度は「食べて健康、笑って健康。」をテーマとした。

(表(2)-3)

年度	参加団体	参加者数
24	10 団体	99 名
25	10 団体	95 名

(3) 保健栄養

健康増進法に基づき、専門的な知識や技術を必要とする対象者への栄養指導や、特定給食施設には適切な栄養管理が行えるよう必要な指導・助言やスキルアップ・情報提供等を目的とした講習会を開催した。

また、八王子市食育推進計画をふまえ、市民一人ひとりが食に関する理解や関心を深め、適切な食の選択による望ましい食生活を実践することを目指し、すべてのライフステージにおいて健康維持増進と生活習慣病予防のための取組等を行った。

① 専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況（表（3）- 1）

年 度	区 分		(計) 栄養指導	栄 養 指 導				
				(再掲)			(再掲) 訪問指導	(再掲) 精神
				生活習慣病	難 病	その他疾病		
24	総 数		151	70	4	20	—	5
25	総 数		83	47	1	35	—	1
	内 訳	妊 産 婦	—	—	—	—	—	/
		乳 幼 児	1	—	—	1	—	
		20歳未満	2	1	—	—	—	
20歳以上		80	46	1	34	—		

イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況（表（3）- 2）

年 度	区 分		(計) 栄養指導	栄 養 指 導			
				(再掲)			(再掲) 精 神
				生活習慣病	難 病	その他疾病	
24	総 数		411	231	—	—	31
25	総 数		134	134	—	—	45
	内 訳	妊 産 婦	—	—	—	—	/
		乳 幼 児	—	—	—	—	
		20歳未満	—	—	—	—	
20歳以上		134	134	—	—		

② 特定給食施設指導

健康増進法に基づく特定給食施設（児童福祉施設、病院、社会福祉施設、事業所等）に対して、施設特性に応じた栄養効果の十分な給食が実施され、喫食者の健康増進が図られるよう、個別指導（来所、電話、巡回）及び集団指導として栄養管理講習会を年間6回行った。

給食施設数（表（3）－3）

年 度	総 数	学 校	病 院	介 護 老 人 保 健 施 設	老 人 福 祉 施 設	児 童 福 祉 施 設	社 会 福 祉 施 設	矯 正 施 設	寄 宿 舎	事 業 所	給 食 セ ン タ ー	そ の 他
24	380	113	39	7	40	95	11	2	15	30	—	28
25	380	114	39	7	41	96	12	1	14	28	—	28

給食施設指導状況（表（3）－4）

年 度	種 別	区 分	総 数	特定給食施設		その他の給食施設
				1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	1回100食未満又は1日250食未満
24	総 数	個別指導延べ施設数	619	292	145	182
		(再掲)巡回指導	6	4	2	—
		集団指導 開設回数 延べ施設数	8 453	— 259	— 47	— 147
25	総 数	個別指導延べ施設数	468	218	141	109
		(再掲)巡回指導	7	4	—	3
		集団指導 開設回数 延べ施設数	6 369	— 195	— 55	— 119

栄養管理講習会実施状況（表（3）－5）

開催日	対象施設	テ ー マ	講 師 名	参 加 施設数	参 加 人数
5月21日	病院・介護施設	①食品衛生情報 ②栄養管理・情報提供	①保健所食品衛生監視員 ②保健所栄養士	61	62
5月22日	給食施設	①食品衛生情報 ②栄養管理・情報提供	①保健所食品衛生監視員 ②保健所栄養士	94	96
7月9日	経験3年未満の管理栄養士・栄養士	①給食施設に係る届出、栄養管理方法（講義） ②給食施設における災害対策について（グループワーク）	保健所栄養士	38	38
9月10日	全施設対象	～健康づくりの推進に向けて～ 健康日本21(第2次)を知る	神奈川工科大学 応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授 饗場直美 氏	58	59
1月15日	病院・介護施設	喫食者に適した食形態の提案 グループワーク	日本歯科大学 教授 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長 菊谷 武 氏	29	29
3月3日	全施設	①「八王子市の危機管理について～八王子市地域防災計画をふまえて～」 ②「保育園における震災対策訓練」(DVD上映) ③事例報告「非常時危機管理対策における他施設との連携」 ④情報提供	①八王子市生活安全全部防災課職員 ③市内特定給食施設 2施設 ④保健所栄養指導員	89	108

③ 人材育成

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のための人材育成として、各団体への研修会、連絡会等を支援・開催した。また管理栄養士養成施設学生の公衆栄養学実習の受け入れを行った。

人材育成状況（表（3）－6）

項 目	実施回数	延べ人員	内 容 等
地域活動栄養士会	12	116	各世代に対する栄養指導、情報提供等の実施
八王子管理栄養士の会	12	46	生活習慣病予防に関する料理講習会、情報提供等の実施
管理栄養士実習生指導	3回	66人	実践女子大学3年次生：1期3人、2期4人、3期4人 オリエンテーション：5月8日(保健師実習生との合同) 5月20～22日、24、30(1期)、6月20～26日(2期)、9月6、9～12日(3期)

④ 栄養表示食品基準等普及促進事業

飲食店や食品業者に対して随時、栄養成分表示等について普及・指導を行った。また、栄養表示基準制度及び特別用途食品表示許可制度に基づく食品についての収去検査を実施した。

栄養表示・飲食店指導（表（3）－7）

年 度	区 分	業 者 指 導（件数）		
		飲食店等	食品関係業者等	（再掲） 栄養表示基準
24	個別指導延べ施設数	270	3	2
	（再掲）巡回指導	80	—	—
	集団指導 開設回数	1	—	—
	延べ施設数	431	—	—
25	個別指導延べ施設数	166	—	6
	（再掲）巡回指導	42	—	—
	集団指導 開設回数	7	—	—
	延べ施設数	661	—	—

収去検査（表（3）－8）

年 度	検査種類	検体数	良	不良	備考
24	栄養成分表示	3	3	—	
	栄養機能食品	2	2	—	
25	栄養成分表示	3	3	—	
	栄養機能食品	2	2	—	

⑤ 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施した

国民健康・栄養調査実施状況（表（3）－9）

基準日	調査地区	調査協力世帯数	調査協力人数	身体状況調査日
11月6日	2地区	21世帯	43人	11月12日、14日

⑥ 食育推進事業

八王子市食育推進計画（平成23年3月策定）の推進を図るため、八王子市食育協議会を開催し、事業の取組みとして食育フェスタ、食育サポーター活動支援、はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）を開設した。

なお、ヘルシーメニュー推進事業として「登録店制度」を実施し、「しっかり食べよう！野菜350」をテーマに、キャンペーンを行い、普及啓発に努めた。

食育推進事業実施状況

ア 食育フェスタ

食育を市民へ広く周知する取組みの一つとして「人と食をむすぶ食育フェスタ 2013」をキャッチフレーズとして開催した。(実行委員会委託事業)

食育フェスタ実行委員会 (表(3)-10)

項目	回数	延べ人員	回	開催日	内 容 等
食育フェスタ 実行委員会	5	83	第1回	5月23日	八王子市食育推進計画に基づき市民の理解を深めるため、地域団体、事業者、NPO、行政等の食育の取り組みを紹介し、体験の機会を設け、市民・団体との交流や連携を促進することを目的とした食育フェスタを実施した。なお開催にむけて、食育フェスタ実行委員会を設置し、検討を進めた。
			第2回	7月22日	
			第3回	9月24日	
			第4回	10月23日	
			第5回	12月18日	

食育フェスタ開催 (表(3)-11)

開催日	会場	参加団体	来場者
11月9日	富士森公園陸上競技場	21団体	3,200名

イ 食育サポーター事業

地域・市民に対してより広く食育を広めるため、新たに第2期生を養成し、食育フェスタ等の食に関わるイベントや地域の食育活動での支援に取り組んだ。

食育サポーター食育活動支援内容 (表(3)-12)

サポーター	認定人数	活動回数	延べ活動人数	活動内容
学生	16	22	81	市民食育講座、食育フェスタスタッフ、学生天国出展、親子料理教室、公衆浴場利用による健康教室、スポーツ栄養教室、デイケア、消費者フェスティバル出展等
一般	27			

ウ ヘルシーメニュー推進事業

市民の健康維持・増進及び生活習慣病やがん予防に効果がある野菜摂取に着目し、市内の外食産業（飲食店、給食施設、スーパー等）に対し、野菜が多くとれるヘルシーメニューを提供できる店舗の登録店制度を行っている。中間評価として学識経験者を交えて基準の見直し等のため検討会を実施し、今後の食環境整備を図った。

ヘルシーメニュー登録店 (表(3)-13)

登録期間	登録店舗	ガイドマップ配布数
平成25年9月1日～平成26年8月31日	57	15,000部

ヘルシーメニュー登録店キャンペーン (表(3)-14)

キャンペーン実施	参加店舗	クーポン実施店	クーポン券ちらし配布数
平成25年9月（健康増進普及月間）	57	30	6,000部

ヘルシーメニュー検討会（表（3）－15）

回数	開催日	内容	参加者	参加人数
1	7月4日	ヘルシーメニュー登録店の課題と現状	学識経験者、外食チェーン代表、市内飲食店組合代表、庁内関係者等	12名
2	2月10日	課題検討と来年度からの見直し点		14名

エ 市民食育講座

6月の食育月間の新たな取り組みとして、食育実践を目指すための講演会を平成25年度より実施した。

市民食育講座実施状況（表（3）－16）

開催日	内容	参加人数
6月22日（土）	「素敵にベジタブルライフ！～育てて・食べて・ヘルシーに～」 講師：恵泉女学園大学人間社会学部 人間環境学科教授 藤田 智氏	175名

オ はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）

平成24年4月に開設した食育の専用ホームページにより、市内の食育情報の発信を行った。

URL: <http://www.hachioji-shokuiku.com/>

カ その他（依頼事業）

福祉政策課からの依頼で高齢者対象の公衆浴場（お風呂）で健康教室を食育サポーターとともに実施した。

健康教室（表（3）－17）

実施日	場所	内容	来場者人数
8月17日 18日 30日	松の湯（小門町） 福の湯（本町） 稲荷湯（子安町一丁目）	①講話「暑さに負けるな！しっかり食べよう野菜350」 ②体重体組成計を使った栄養相談	26名

（4）医療安全支援センター

平成24年9月に医療安全支援センターを保健所内に開設し、市民が抱える医療への不安や苦情、相談等に対応するとともに、医療機関や市民に対して、医療安全に関する助言や情報提供を行った。

平成26年1月29日、八王子市医療連携推進協議会に当センターの運営状況について報告した。

医療安全相談窓口

相談件数（表（4）－1）

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24年度	392	—	—	—	—	—	7	65	67	51	59	58	85
25年度	752	66	56	59	64	65	51	56	55	56	62	78	84

相談者(表(4)―2)

	本人	家族・親戚	友人・知人	その他	不明
24年度	272	106	6	4	4
25年度	498	217	9	7	21
割合(%)	66.2	28.9	1.2	0.9	2.8

内容(表(4)―3)

	相談	苦情
24年度	313	79
25年度	612	140
割合(%)	81.4	18.6

処理経過(表(4)―4)

	相談者へ助 言・説明	医療機関案 内	専門・関係 機関案内	医療機関へ 連絡	保健所内他 部署案内	市役所内他 部署案内	その他
24年度	226	85	53	20	7	7	20
25年度	400	227	75	15	23	12	0

(5) 予防接種

感染症の発生及びまん延を予防するため、各種予防接種を実施した。

定期予防接種実施状況(表(5)―1)

種 別			対象人員	実施人員	
				接種完了者	予診のみの者
ジフテリア 百日せき (四種混合) 破傷風 急性灰白髄炎	第 初 I 期回	第 1 回	4,015	4,002	50
		第 2 回	4,015	4,028	68
		第 3 回	4,015	4,078	74
	第 I 期追加		678	466	12
ジフテリア 百日せき (三種混合) 破傷風	第 初 I 期回	第 1 回	215	34	0
		第 2 回	215	87	1
		第 3 回	215	199	3
	第 I 期追加		3,588	3,905	69
急性灰白髄炎 (ポリオ)	不 活 化 ワ ク チ ン	第 1 回	215	397	10
		第 2 回	215	818	14
		第 3 回	215	1,144	28
	第 I 期追加		4,179	2,603	47
ジフテリア 破傷風		第 II 期	5,006	3,358	30
麻しん風しん		第 I 期	4,246	3,950	120
		第 II 期	4,841	4,324	50
日本脳炎	第 初 I 期回	第 1 回	4,551	5,349	94
		第 2 回	4,551	5,258	87
	第 I 期追加		4,695	6,069	68
	第 II 期		4,797	1,610	19
結核 (BCG)			4,015	3,431	33
麻しん第 I 期 (再掲)				1	
風しん第 I 期 (再掲)				1	
麻しん風しん特別接種 (法定外公費)				211	
子宮頸がん予防ワクチン	第 1 回		2,528	315	3
	第 2 回		2,528	237	2
	第 3 回		2,528	447	4
ヒブワクチン	初 回	第 1 回	4,015	4,432	39
		第 2 回	4,015	4,065	35
		第 3 回	4,015	4,229	37
	追加		4,246	4,077	36
小児用肺炎球菌ワクチン	初 回	第 1 回	4,015	4,562	29
		第 2 回	4,015	4,178	27
		第 3 回	4,015	4,090	26
	追加		4,246	3,484	22

※子宮頸がん予防ワクチンは、平成 25 年 6 月 14 日から積極的接種勧奨を中止

先天性風しん症候群対策の風しん予防接種実施状況(表(5)―2)

区 分	麻しん風しん混合	風しん	計
女 性	2,304	16	2,320
男 性	815	6	821
計	3,119	22	3,141

対象者 19歳以上の妊娠を予定又は希望する女性、及び妊婦の配偶者

接種期間 女性：平成25年4月1日～平成26年3月31日

男性：平成25年4月1日～平成25年9月30日

高齢者インフルエンザ予防接種(表(5)―3)

実施期間	平成25年10月15日～平成26年1月31日
対象者	65歳以上の方 60～65歳未満で心臓等内部疾患に1級程度の障害のある方
対象者数	129,381人
接種者数	48,315人
接種率	37.3%
自己負担額	2,200円(生活保護受給者等は無料)

※町田市、日野市、多摩市、稲城市の医療機関での接種を実施(相互乗り入れ)

高齢者肺炎球菌予防接種(表(5)―4)

実施期間	平成25年7月1日～平成25年10月31日
対象者	75歳以上
接種者数	2,388人
自己負担	4,000円